



模擬授業にちょっと緊張

H15-b-1
朝日

来年4月に開学が予定される雄和町の国際教養大学で31日、校内を見学し説明を聞く「キャンパスツアー」があり、高校生や保護者ら約500人が参加した。

推薦入試で「TOEFL 450点」や「英検準2級」が考慮されることや、一般入試で英語の配点が高

来年開学予定の国際教養大 キャンパスツアーに500人

いことなどが具体的に説明された。高校生からは「面接も英語なのですか」と切実な質問が出た。面接は日本語が基本だが、英語での質疑応答も2、3ある、と県の同大設置準備事務局が答えた。

模擬授業では、教員予定者8人が4教室でプロジェクトターを使った、生徒に質問したり、大学の授業を披露した。ハンバーガー店を訪れた

という設定で行われた模擬授業Ⅱ写真Ⅱは、店員と客の会話が書かれた紙を見て、同じ意味の文章が書かれたカードを探す形式。

友達と来たという大館鳳鳴高2年生の田村奈緒子さん(16)は「課題が終わったか出かれたので『Yet (まだ)』と答えましたが『Not』が先につかないといけなかったかも」と緊張した表情で模擬授業を受けていた。